

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレットより —

まとめ 比爪と平泉の関係③

そして、平泉に於いて奥州藤原氏の文化を現在まで継承できたのは、「中尊寺」「毛越寺」の平泉現地での継続が、大きな支柱であったと評価できます。この両寺院が核になり、器物、芸能、思想が地域に根付いて継承されていたのです。

比爪に目を転じると、その核となるべき「高水寺」、「大莊嚴寺」、「新山寺」が城下建築に伴い盛岡に移され、さらに明治初頭に「廃仏毀釈」によって廃寺になっています。これによって「比爪文化」の継承が断絶され、現在における比爪と平泉に対する評価の差が生じたと考えられます。

《《《 9～10月行事予定のお知らせ 》》》

<p>○ 9月2～3日 (火・水曜日)</p>	<p><b>羽柴直人先生と行く 『比爪-もう一つの平泉-』 を追って現地で学ぶ旅</b></p> <p>平泉よりも比爪に類似する“かわらけ”が出土した浪岡城と矢立廃寺跡の見学も入っています。</p> <p>《共催》 紫波町観光交流協会 紫波町平泉関連史跡 連携協議会 紫波町郷土史同好会 紫波町観光案内人 しゃ・ペーる</p>	<p>2日：午前9時 赤石公民館出発(盛岡IC乗車可) 青森県七戸町(七戸資料館・コンニャモリ経塚・国指定史跡七戸城・ニツ森貝塚) 東八甲田温泉 午後6時到着・宿泊 3日：午前8時出発 青森市内(外ヶ浜[展望]) 青森県浪岡町(浪岡城・中世の館) 秋田県大館市(矢立廃寺跡・錦神社・大館郷土博物館) 赤石公民館 午後6時半頃 帰着予定 参加料：20,000円位(最少催行30人) 氏名、年齢、性別、住所・郵便番号、電話番号等を記入しFAXで紫波町観光交流協会へ申込み。 FAX番号 019-676-4422 電話番号 019-676-4477 ※ 余席が若干あります。参加を希望される方は至急お申し込みください。先着順に定員になり次第、〆切となります。</p>
<p>○ 9月17日 (水曜日)</p>	<p><b>第55回月例懇話会</b></p>	<p>午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：藤原清衡考Ⅲ・泰衡の首Ⅱ 発表者：佐藤雄一 テーマ：赤石小学校郷土学習について</p>
<p>10月15日 (水曜日)</p>	<p><b>第56回月例懇話会</b></p>	<p>午後7時から午後9時まで 赤石公民館 ※ 発表を予定される方は早めにテーマを事務局長にお知らせください。</p>

~~~~~ 新 入 会 員 募 集 ~~~~~

--- 若い方も年配者も、男性・女性どなたでも --- 初めての人も、もちろん大歓迎 ---

年会費 2,000円

【会員特典】◎ 定期講演会・遺跡めぐり等の参加費は会員割引料金 ◎ 月例懇話会・会員研修旅行等参加

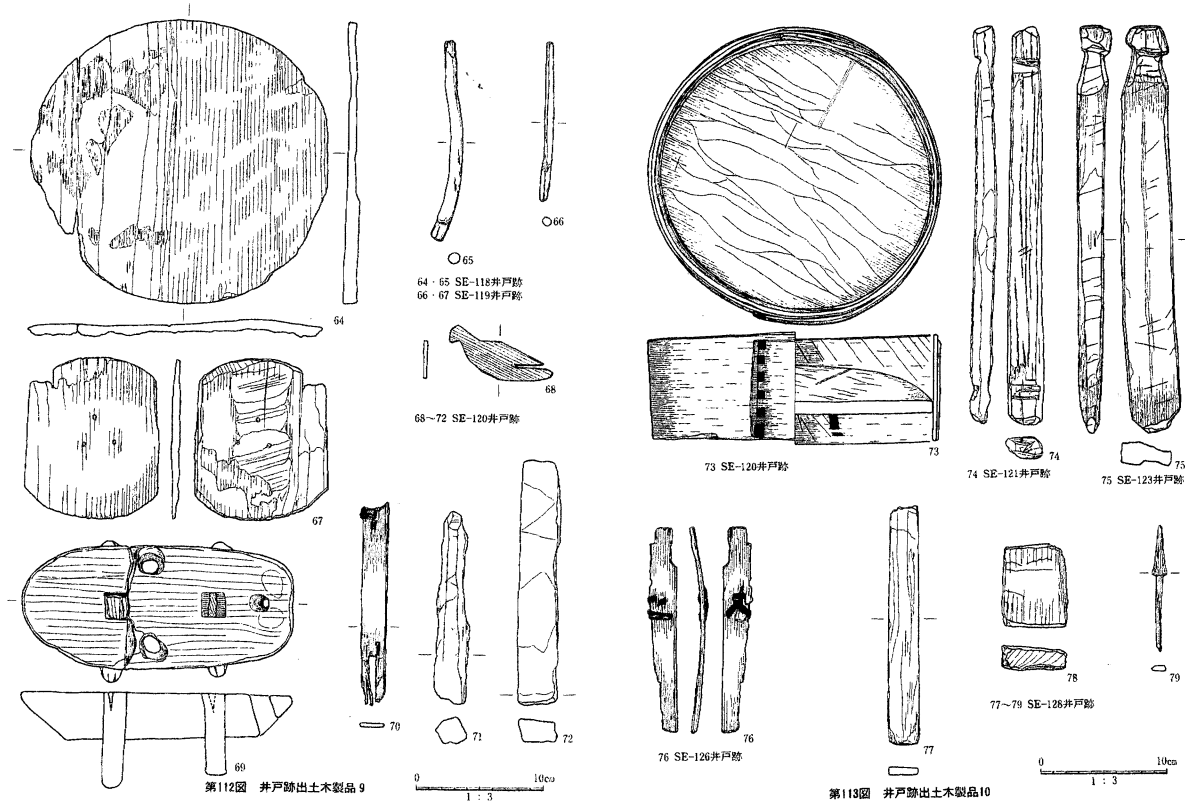
加入申込書は、赤石公民館にあります。詳細は019-3125-3776(高橋)まで

【第9・10次発掘調査(5)】 紫波町文化財調査報告書第24集 比爪館 第9・10次発掘調査報告書<紫波町教育委員会(平成4年3月30日発行)>から

第36号の堅穴住居跡につづき今回は井戸跡から出土した遺物の実測図の一部を紹介します。

### 3 井戸跡

I区4基、II区2基、III区9基、IV区1基、V区1基、VI区で2基と、I区南半分とIII区を中心として計19基の井戸を検出、調査した。土坑と同じく、遺構のネーミング・ナンバリングに混乱をきたしているが、そのまま記述する。なお、遺構の状況、出土遺物、周辺住民の証言から確実に旧々校舎にともなうと判断し得たものは、記載していない。(136頁)

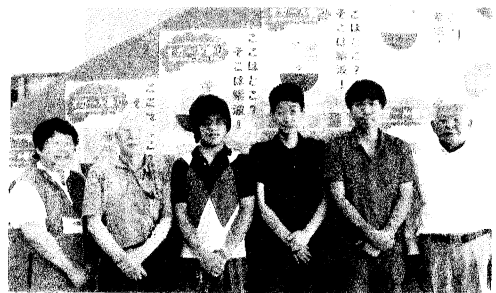


- 160 -

- 161 -

### ◆ 7月21日に京都在住の“樋爪健志さん”が、ルーツを訪ね樋爪館跡などを見学！

樋爪さんは会社の同僚の方と三人で日詰駅に着かれました。いつもの「五郎沼一周樋爪館遺跡めぐりコース」を案内した後喫茶レモンで一休みし、その後の希望する見学先を尋ねたところ、ご自分のルーツを学ぶため、先ず樋爪氏の歴史に関する資料を見たいということでしたので、予定を変更し町図書館の郷土史コーナーに案内しました。紫波町史や発掘調査報告書等を調べられる真摯な姿に感銘をうけました。手荷物を預かっていた日詰駅前「さくらばな」の、滝浦さんの昔の思い出話も熱心に聞かれる樋爪さんは、とても誠実な人柄の方でした。送ってくださった、お礼の手紙の一部を紹介します。



右から三番目が樋爪健志さん

—前略— おかげさまでとても楽しく心に残る旅ができました。また皆様方の故郷に対する取組みに深く感銘を受けました。今回、訪問させて頂き一番心に残りましたのは樋爪館、五郎沼でした。以前より思いが有りましたので、実際に自分の足でその地に立てた事に感動いたしました。他にご案内頂きました障が岡や志賀理和気神社にも夫々の歴史、特色があり興味深く拝見しました。まだまだ、お聞きしたい事や、お伝えしたい事もございますので近いうちに再度ご訪問させて頂ければと考えております。よろしく願います。—後略—